

令和7年度第2回泉大津市男女共同参画審議会 議事要旨

1. 会議概要

- 日時:令和7年9月5日(金)午前10時~
- 場所:泉大津市役所3階 大会議室
- 審議会委員出席者:岡崎会長、岩田副会長、加藤委員、上中委員、中下委員、山田委員、寺田委員、花見委員、國安委員
全10名のうち、出席9名、欠席1名
- (人権くらしの相談課) 深澤課長、寺内課長補佐、田中係員
- 傍聴者なし

2. 主な審議内容

(1) アンケート結果・分析報告

【ジェンダー平等意識と価値観のゆれ】

- 価値観では男女平等が支持されるが、経済的責任は男性という矛盾が存在
- 理想と現実のギャップは制度が追いついていない現れと分析
- 大阪府調査との比較で、泉大津市の保守的傾向を指摘

【女性の就労と職場環境】

- 若年男性から「女性優遇」の声がある一方、女性の成長機会が失われる懸念も
- アフターマティブアクションへの理解促進と啓発の必要性
- 女性のパート就労が「補助的役割」として固定化される問題を指摘

【暴力の認識とセクストーション】

- 若年層の暴力への認識不足が深刻
- SNS時代特有の「セクストーション」(画像を使った脅迫)への対策が必要
- 子どもへの性虐待・性暴力への認識向上が課題
- 周知啓発活動の強化と関係機関との連携の必要性を確認

(2)第 3 次計画進捗状況

【両親教室の拡充】

- 乳幼児期だけでなく、小中学生の保護者向け講座の必要性を提案
- 料理教室など実践的講座の意図が参加者に伝わる工夫が必要

【子育てサークル支援】

- 子育てサークルは女性中心で、男性参加の促進が課題
- 父親サークルの登録要件(年 6 回以上の活動計画提出等)のハードルが高い
- 父親同士のつながり構築と孤立防止施策の重要性を指摘

【企業の理解促進】

- 男性の育休取得は進むが、代替人材配置など企業側の体制整備が不十分
- 「えるぼし・くるみん」認定企業の積極的な周知広報を要望
- 認定企業の社会的評価向上により、企業の取組促進を図る必要性

【リプロダクティブ・ヘルス/ライツ】

- 「女性が健康=家庭への貢献」という表現は避けるべき
- 性と生殖に関する健康と権利として、個人の自己決定権を尊重する視点が重要

(3)第 4 次計画骨子案

【重点項目の見直し】

- 地域活動:自治会、PTA、祭りで男女の役割が異なる実態
- 祭りは地域活動ではなく「文化」として位置づけを検討
- 移住者の父親が孤立する傾向にあり、父親サークル等の地域活動参加を促進

【表現の改善】

- 「暴力を容認しない」→「暴力を生じさせない」への変更を提案
- 意識醸成の次のフェーズとして「理想と現実のギャップ解消」を重視
- 仕事と生活の調和は女性だけでなく、男女双方の課題として表現すべき

【重点項目の精選】

- 現状 5 項目は多く、深掘りのため 3~4 項目への絞り込みを検討

- 家庭内役割分担の是正は重要だが、単身世帯や高齢者世帯の増加も考慮

【SDGs とウェルビーイング】

- 国際的には SDGs の次のフェーズとして「ウェルビーイング」が注目
- 10 年計画として、ウェルビーイング(社会的つながり・身体的健康・精神的充実)の視点を導入
- 重点項目をウェルビーイングの 3 領域と対応させることを提案

3. 今後の予定

第 3 回審議会:令和 7 年 10 月 15 日(火)午前 10 時~ 職員会館 3 階集会室

以上